

どこでも写真管理 Plus⁺

どこでも写真管理 Plus 出来形計測 (Android 版) 操作手順書

(CIMPHONY Plus 使用時)

EX-TREND武蔵の出来形管理、どこでも写真管理Plusでデータを連携して、実測値の計測と出来形写真の撮影をおこなう手順を解説します。

※黒板作成・連携ツールのライセンスが必要です。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。ご了承ください。

※CIMPHONY Plus 連携ツール：2022/2/24版で解説しています。

インストールするには、FCアカウントの個別ダウンロードを行ってください。

目次

どこでも写真管理Plus 出来形計測（Android版） 操作手順（CIMPHONY Plus使用時）

1. どこでも写真管理Plus 出来形計測の概要	1
1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について	1
2. 出来形管理からどこでも写真管理Plusに 工種分類を転送する	2
2-1 工種分類を作成する	2
2-2 転送先の工事データを作成する	4
2-3 工種分類をCIMPHONY Plusに転送する	5
3. どこでも写真管理Plusで 出来形データを入力する	9
3-1 CIMPHONY Plusから工種分類を取り込む	9
3-2 実測値を入力する	11
3-3 出来形写真を撮影する	13
3-4 入力した出来形データを確認する	15
4. 入力した出来形データを 出来形管理に取り込む	16
4-1 出来形データをCIMPHONY Plusへ送信する	16
4-2 出来形写真をCIMPHONY Plusへ送信する	18
4-3 CIMPHONY Plusから出来形データを取り込む	20
4-4 CIMPHONY Plusから出来形写真を取り込む	23

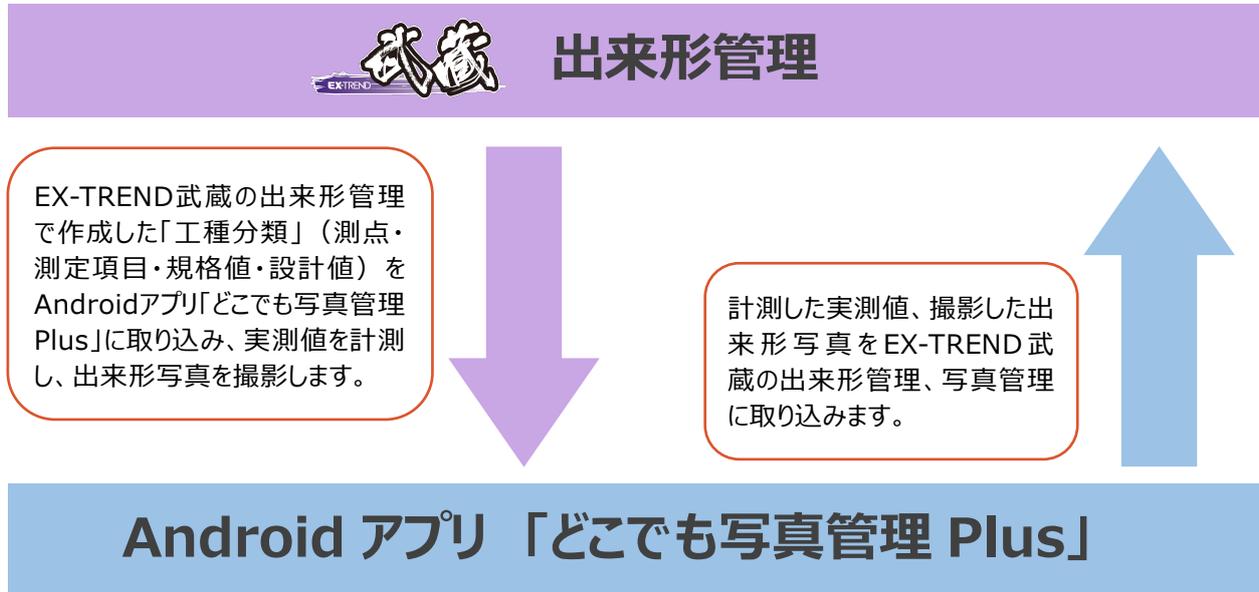
1

どこでも写真管理 Plus 出来形計測の概要

「どこでも写真管理Plus」とは、電子小黒板機能付き工事写真撮影アプリです。
また、アプリ上で出来形実測値の直接入力も可能です。

本書では、EX-TREND武蔵の出来形管理、Androidアプリ「どこでも写真管理Plus」の連携について説明します。

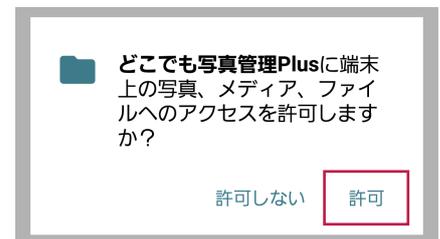
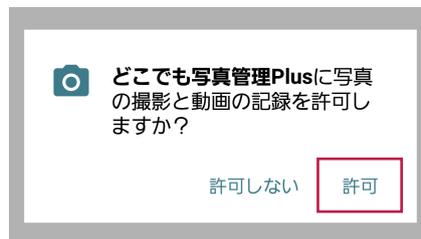
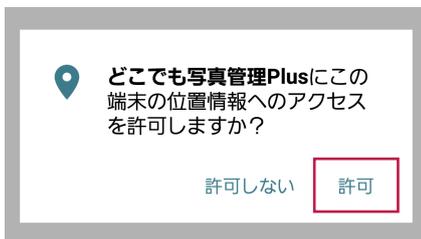
※CIMPHONY Plusを使用する場合は【CIMPHONY Plus】のご契約が別途必要になります。



1-1 どこでも写真管理Plusの動作の許可について

スマートフォンで「どこでも写真管理Plus」を起動した時に、各種動作の許可を求める画面が表示される場合があります。
この画面では、すべて「許可」を選択します。

【画面例】



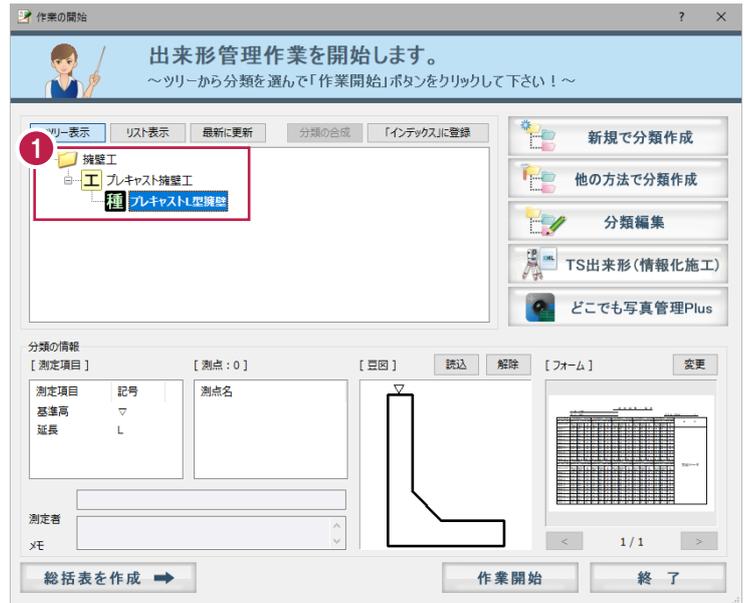
2

出来形管理からどこでも写真管理 Plus に 工種分類を転送する

2-1 工種分類を作成する

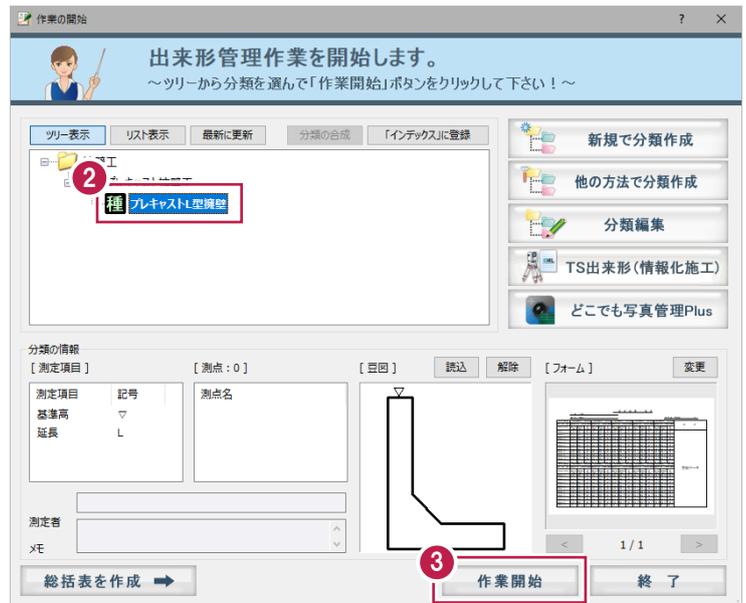
EX-TREND武蔵の出来形管理で工種分類を作成し、「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定しておきます。

- 1 出来形管理で工種分類を作成します。

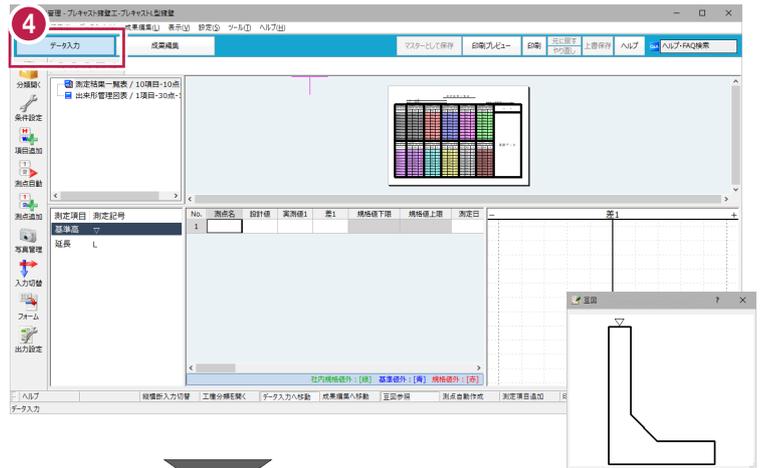


- 2 作成した工種分類を選択します。

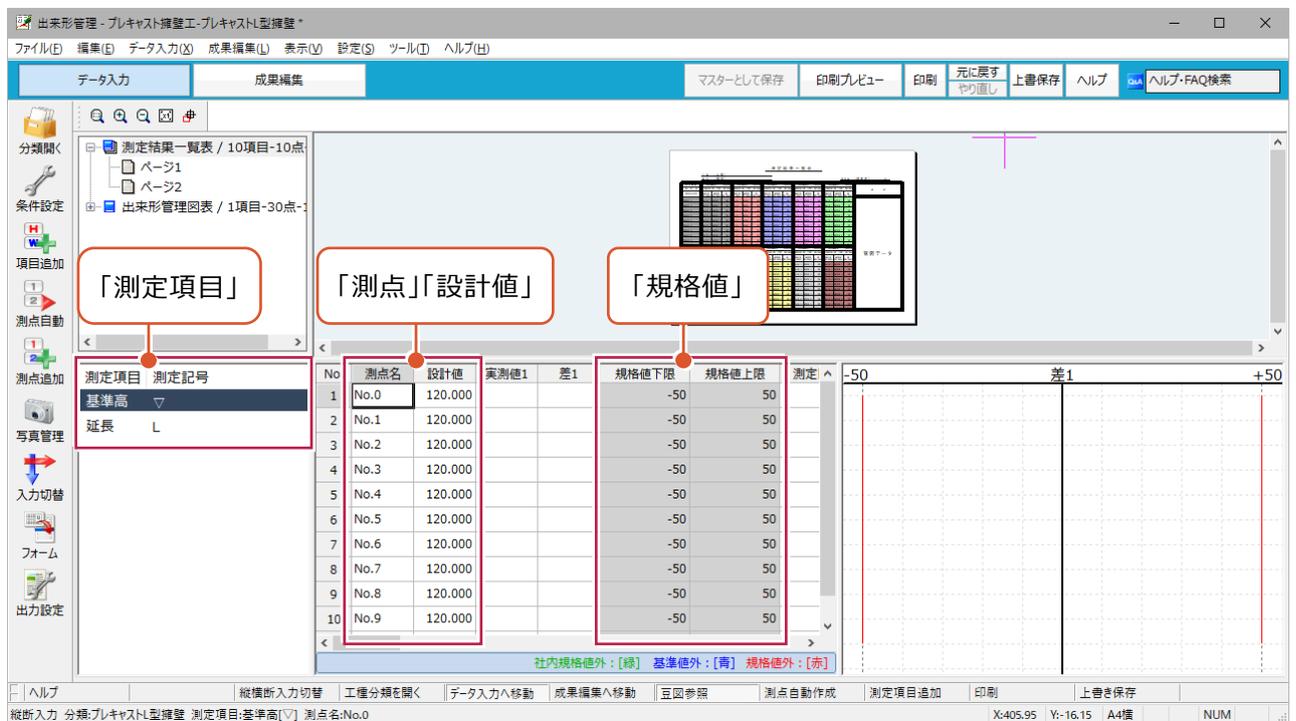
- 3 [作業開始] をクリックします。



4 [データ入力] ステージが表示されます。

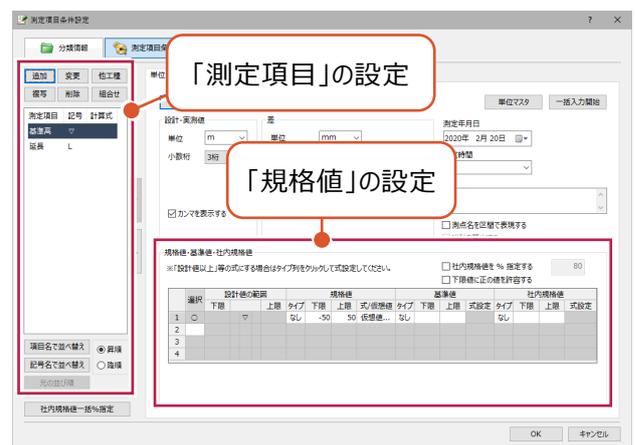
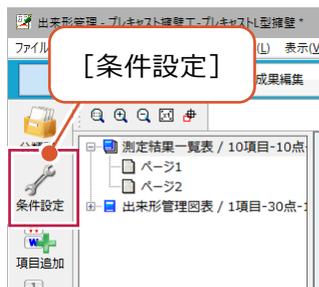


5 「測点」「測定項目」「規格値」「設計値」を設定します。



補足 「測定項目」「規格値」を設定するには

「測定項目」と「規格値」の設定は、
[条件設定] コマンドでおこないます。



2-2 転送先の工事データを作成する

あらかじめスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」で、工種分類の転送先となる工事データを作成しておきます。

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動し、[工事新規作成]（+マーク）をタップします。



- 2 [工事名称] など工事の情報を入力します。
- 3 入力を終わったら、[工事一覧] をタップします。



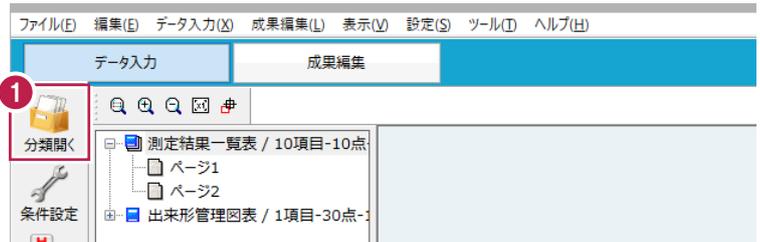
- 4 工事一覧に戻ります。
工種分類の転送先の工事が作成されていることを確認します。



2-3 CIMPHONY Plusを使って工種分類を転送する

CIMPHONY Plusを利用し、インターネット経由でPCの工種分類をスマートフォンの「どこでも写真管理Plus」に転送します。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[分類開く] をクリックします。



- 2 [どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



- 3 [データ転送] (右側) をクリックします。

データを転送するには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。



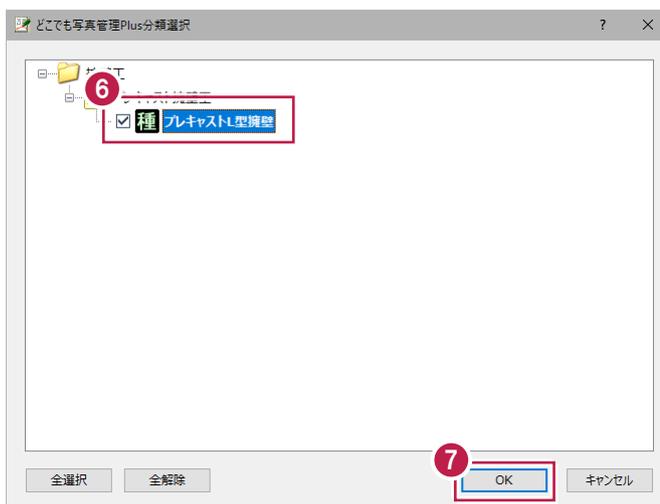
- 4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択
します。

- 5 [OK] をクリックします。



⑥ 転送する工種分類のチェックをオンにします。

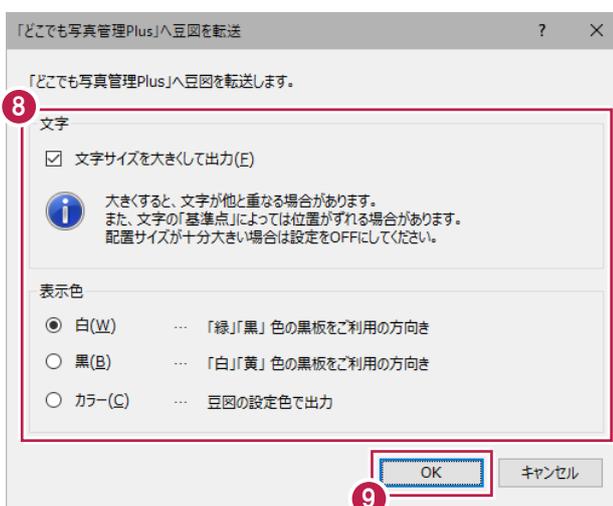
⑦ [OK] をクリックします。



⑧ 豆図の文字、表示色を設定します。

⑨ [OK] をクリックします。

CIMPHONY Plus 連携ツールが起動します。



⑩ メールアドレスとパスワードを入力します。

⑪ [ログイン] をクリックします。

※ログイン後、1ヶ月間は認証情報が保存されます。

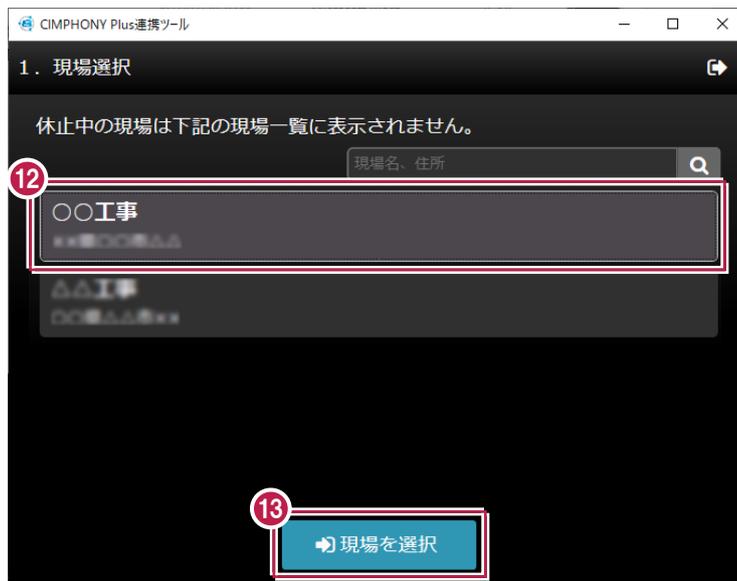


12 現場を選択します。

13 [現場を選択] をクリックします。

※CIMPHONY Plus であらかじめ現場を作成しておいてください。

※工期終了した現場にデータをアップロードすることはできません。



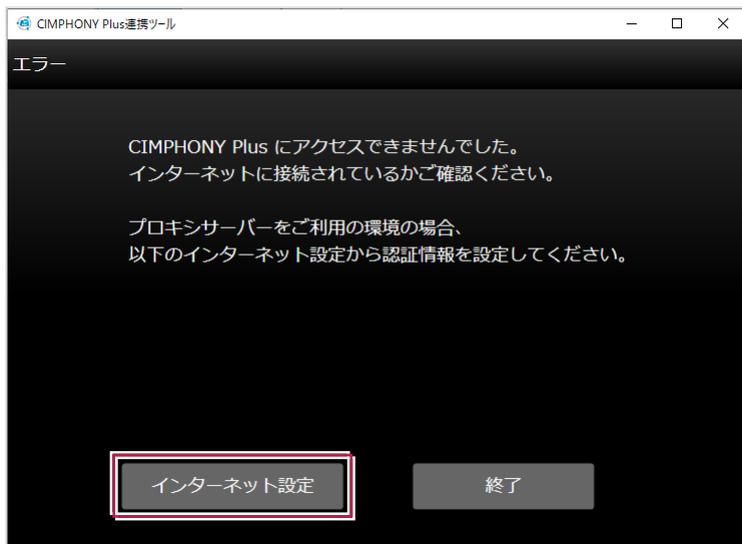
14 [終了] をクリックします。

以上で工種分類の転送は完了です。



補足 プロキシサーバー環境の場合

プロキシサーバー環境の場合は、インターネット設定で認証情報を設定してください。



[サーバーを手動で設定する] を選択した場合は、認証情報を入力してください。

3

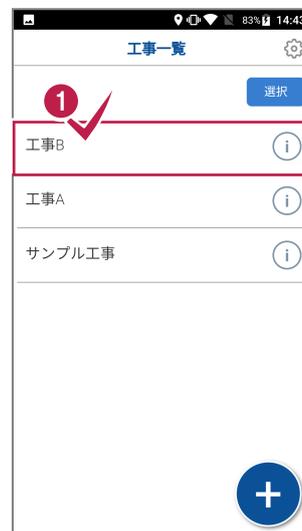
どこでも写真管理 Plus で出来形データを入力する

Androidアプリ「どこでも写真管理 Plus」で、出来形管理から転送した工種分類に出来形データを入力します。

3-1 CIMPHONY Plusから工種分類を取り込む

- 1 スマートフォンで、どこでも写真管理 Plus を起動します。

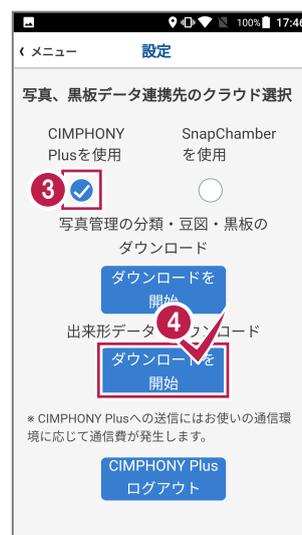
工種分類を取り込む工事をタップします。



- 2 [クラウド] アイコンをタップします。

- 3 [CIMPHONY Plus を使用] を選択します。

- 4 [出来形データのダウンロード] の [ダウンロードを開始] をタップします。



- 5 CIMPHONY Plus のログイン画面が開きます。

[メールアドレス] と [パスワード] を入力し、[ログイン] をクリックします。

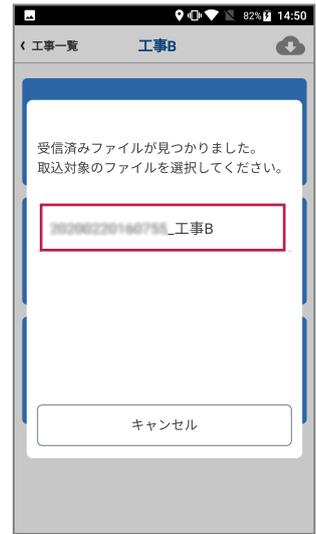


- ⑥ 出来形管理から工種分類を転送した、CIMPHONY Plus の現場をタップします。
 ※工期終了した現場は表示されません。
 ダウンロードを終えたら、「閉じる」をクリックします。

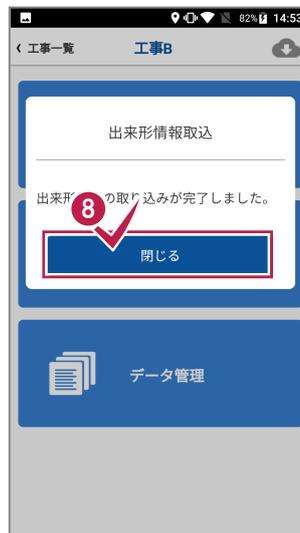


補足 待機状態が長く続く場合
 回線などの問題でダウンロードが完了しない場合は、一旦「メニュー」をタップして戻り、再度「クラウド」の「ダウンロードを開始」をタップしてください。

- ⑦ 「メニュー」をタップして戻ります。
 「受信済みファイルが見つかりました。～」と表示されます。
 取り込むデータをタップします。



- ⑧ 取り込みが完了したら「閉じる」をタップします。



3-2 実測値を入力する

- 1 [出来形計測] をタップします。
取り込んだ工種分類が表示されます。



- 2 実測値を計測する工種分類をタップします。
出来形画面が表示されます。



- 3 計測する [測点] と [測定項目] をタップして選択します。

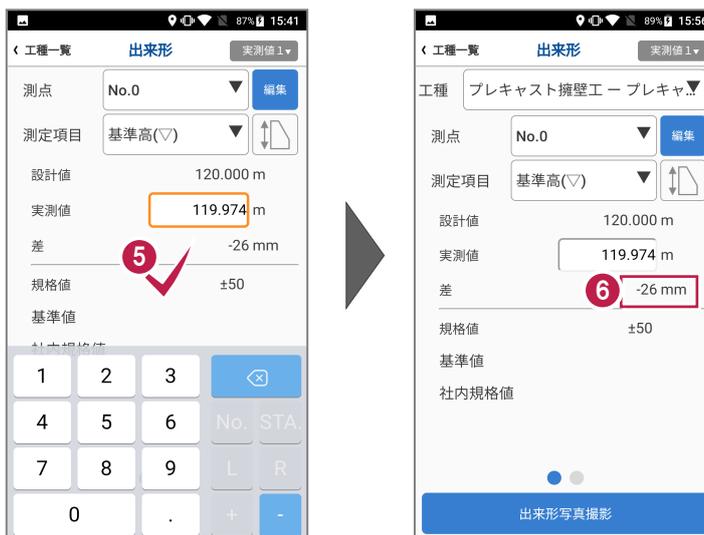
- 4 実測値を計測して、値を入力します。



5 黒板画面の任意の箇所をタップして、出来形画面に戻ります。

6 「差」が表示されます。

同様の手順で [測点] と [測定項目] を選択し、他の箇所の実測値の入力をおこないます。



補足 測定項目の切り替えは、画面フリックでも可能です

画面を左右にフリックすると、測定項目が切り替わります。



3-3 出来形写真を撮影する

- 1 出来形写真を撮影します。
写真を撮影する [測点] を選択します。
- 2 [出来形写真撮影] をタップします。
撮影情報画面が表示されます。
- 3 黑板に反映する測定項目のチェックをオンにします。



- 4 [黑板情報] タブと [写真情報] タブをタップして、黑板情報と写真情報をそれぞれ確認します。
現場で入力する項目がある場合は、ここで入力します。



- 5 写真を撮影します。[黑板情報] タブの [撮影] (カメラマーク) をタップします。
カメラが起動します。



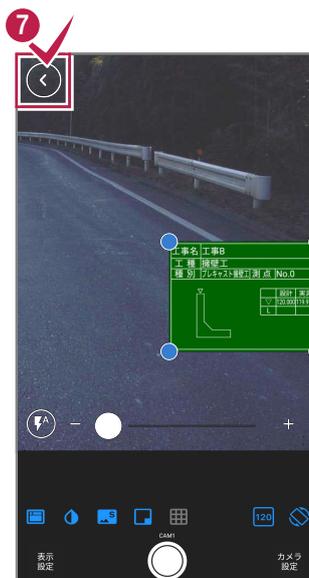
⑥ 黒板の位置はドラッグして移動できます。

黒板のサイズは黒板の四隅の「○」をドラッグして変更できます。

黒板の位置とサイズが決まったら、[撮影] ボタン (⊙) をタップして写真を撮影します。



⑦ 撮影を終えたら、カメラ左上の「戻る」ボタンで撮影情報画面に戻ります。



⑧ 左上の「出来形」をタップして出来形画面に戻ります。

同様の手順で [測点] を選択し、他の箇所の出来形写真の撮影をおこないます。



3-4 入力した出来形データを確認する

- ① 工種一覧に戻り、[結果一覧] をタップします。

各測点の測定項目と設計値、実測値が表示されるので、確認します。



項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m

- ② 出来形写真を撮影した場合は写真のアイコンが表示されるので、タップして確認します。

写真の確認を終えたら、左上の[結果一覧]をタップして結果一覧画面に戻ります。

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m
延長(L)			m
No.1			
基準高(▽)	120.000	120.003	m
延長(L)	20.000	20.011	m
No.2			
基準高(▽)	120.000	120.027	m
延長(L)	20.000	20.008	m



- ③ 結果一覧の確認を終えたら、左上の[工種一覧] [メニュー] [工事一覧] とタップして、工事一覧画面まで戻ります。

項目	設計値	実測値	単位
No.0			
基準高(▽)	120.000	119.974	m



4

入力した出来形データを出来形管理に取り込む

どこでも写真管理Plusで入力した出来形データを、EX-TREND武蔵の出来形管理で取り込みます。

4-1 出来形データをCIMPHONY Plusへ送信する

「どこでも写真管理Plus」で計測した出来形データを、CIMPHONY Plusに送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、出来形を計測した工事をタップして開きます。

② [出来形計測] をタップします。

③ 工種分類が表示されます。
[選択] をタップします。



4 CIMPHONY Plus に送信する工種分類をタップして、チェックマークを表示します。

5 [出力] をタップします。

6 [CIMPHONY Plus へ送信] をタップします。

補足 [SnapChamber へ送信] と表示される場合は

工事一覧に戻って、[クラウド] をタップし、[CIMPHONY Plus を使用] を選択してください。



The screenshot shows the '設定' (Settings) screen with the 'クラウド' (Cloud) option selected. Below it, the 'CIMPHONY Plus を使用' (Use CIMPHONY Plus) option is checked, and the 'SnapChamber を使用' (Use SnapChamber) option is unchecked. A red box highlights the 'CIMPHONY Plus を使用' option.

7 [OK] をタップします。

8 出来形データの送信先の CIMPHONY Plus の現場を選択します。

※工期終了した現場は表示されません。

9 送信が完了したら [閉じる] をタップします。



4-2 出来形写真をCIMPHONY Plusへ送信する

「どこでも写真管理Plus」で撮影した出来形写真を、CIMPHONY Plusに送信します。

① どこでも写真管理 Plus で、出来形を計測した工事をタップして開きます。

② [データ管理] をタップします。



③ 撮影した出来形写真が表示されます。
[全選択] をタップします。

④ [全選択] をクリックします。



⑤ 送信される写真にチェックマークが表示されます。
[CIMPHONY Plus へ送信] をタップします。

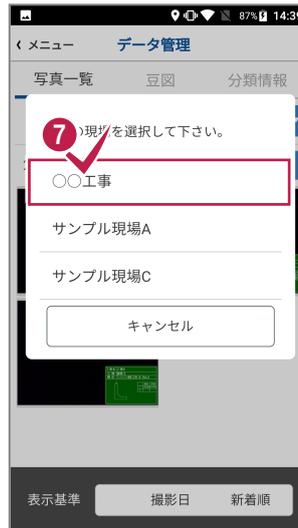
⑥ [OK] をタップします。



7 写真の送信先の CIMPHONY Plus の現場を選択します。

※工期終了した現場は表示されません。

送信が完了したら [閉じる] をタップします。



8 写真が「CIMPHONY Plus 送信済」になります。



補足 送信が失敗する場合

回線の状態により、送信が失敗する場合があります。その場合は、送信する写真の枚数を減らして、再度送信をおこなってください。

補足 同名のファイルを登録済みの場合

CIMPHONY Plusに同名のファイルが存在する場合、ファイル名末尾に連番が付記されます。

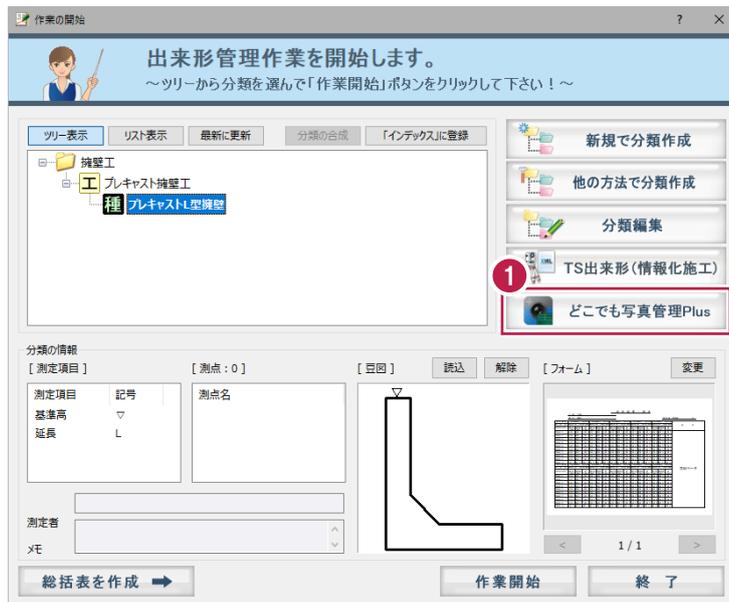
例) 「ファイル名-(1).jpg」

※自動リネームによりファイル名が100文字を超える場合はファイル登録されません。

4-3 CIMPHONY Plusから出来形データを取り込む

CIMPHONY PlusからEX-TREND武蔵の出来形管理に、出来形データを取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の出来形管理で、
[どこでも写真管理 Plus] をクリックします。



- 2 [データ取込] をクリックします。

データを取り込むには、「黒板作成・
連携ツール」がインストールされている
必要があります。

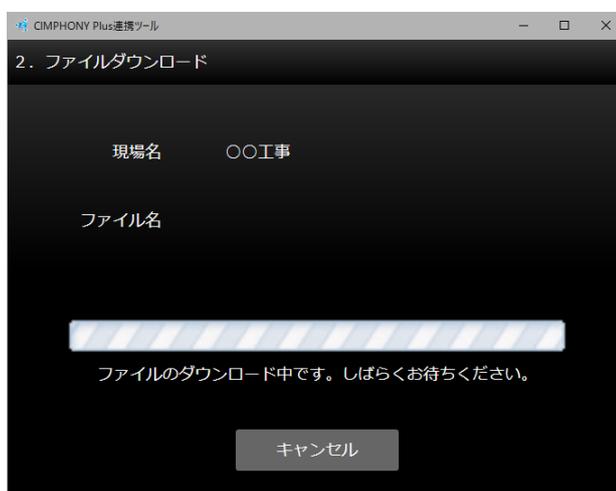
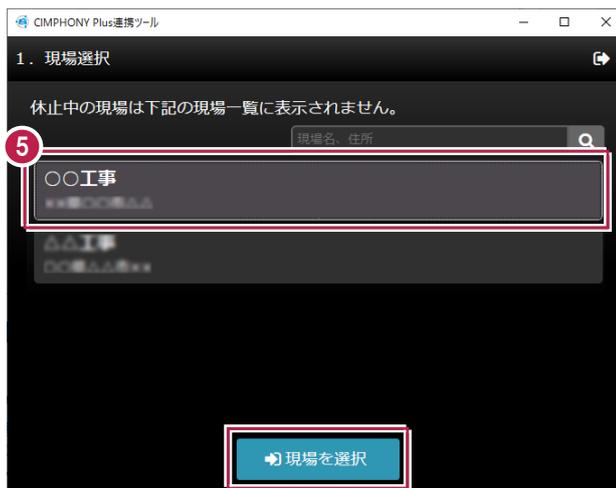


- 3 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択
します。

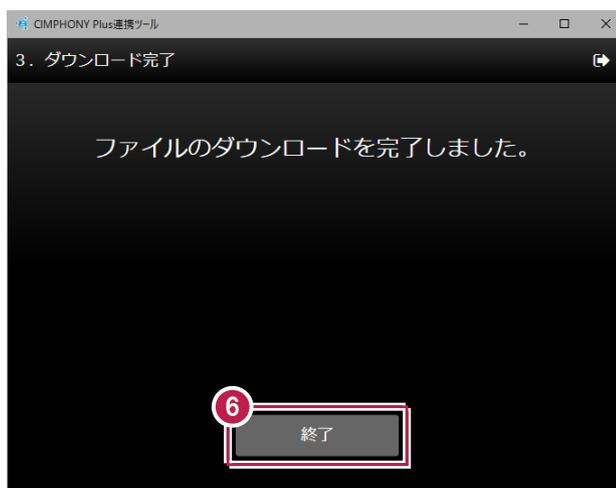
- 4 [OK] をクリックします。



- 5 どこでも写真管理 Plus から出来形データを送信した現場を選択し、[現場を選択] をクリックします。



- 6 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。

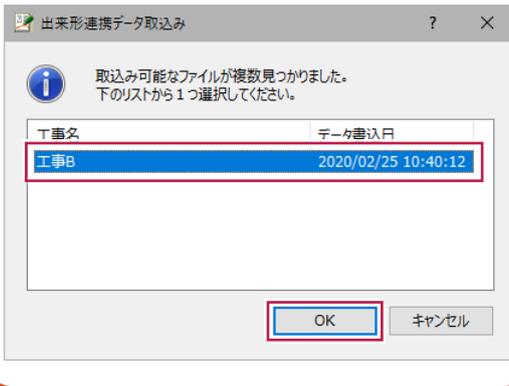


7 取り込む工種分類のチェックをオンにします。

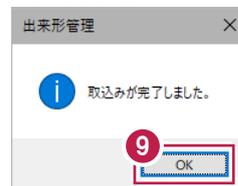
8 [OK] をクリックします。



出来形連携データ取込みダイアログが表示された場合は、取り込む出来形データを選択して [OK] をクリック後に、操作してください。

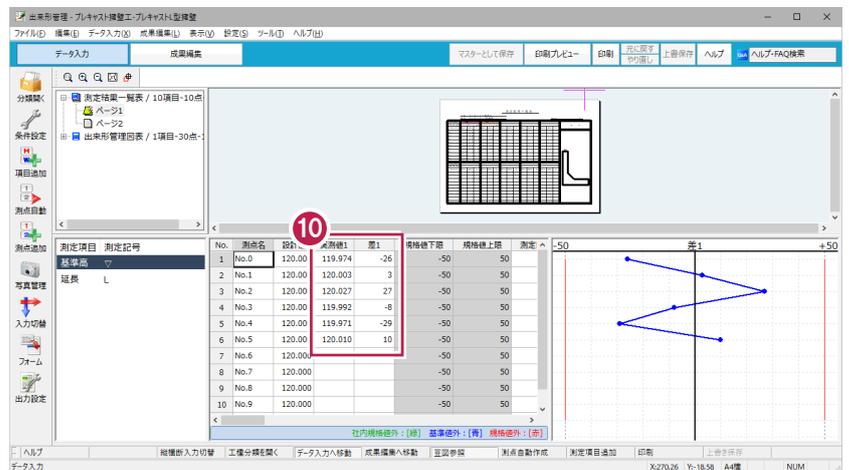


9 取り込みが完了したら [OK] をクリックします。



10 どこでも写真管理 Plus で計測した出来形データが取り込まれます。

以上で出来形データの取り込みは完了です。



4-4 CIMPHONY Plusから出来形写真を取り込む

CIMPHONY PlusからEX-TREND武蔵の写真管理に、出来形写真を取り込みます。

- 1 EX-TREND 武蔵の写真管理で、[取り込み] をクリックします。



- 2 [どこ写 Plus] をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。

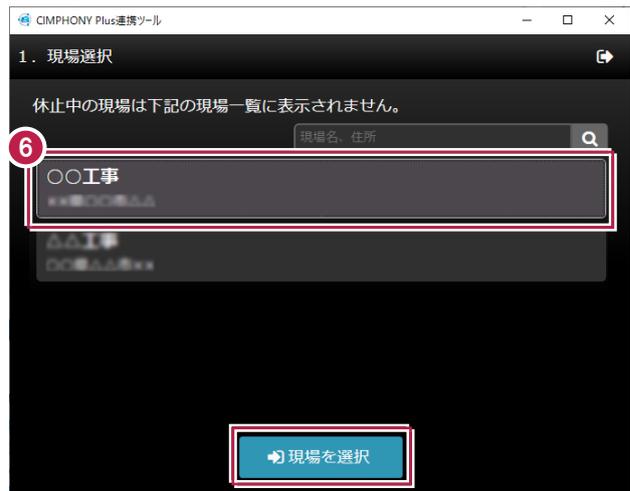


- 4 接続先は [CIMPHONY Plus] を選択します。

- 5 [OK] をクリックします。

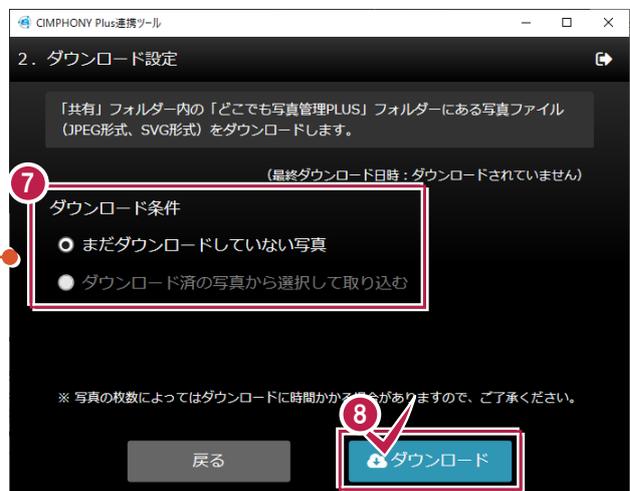


- 6 どこでも写真管理 Plus から出来形写真を送信した現場を選択し、[現場を選択] をクリックします。

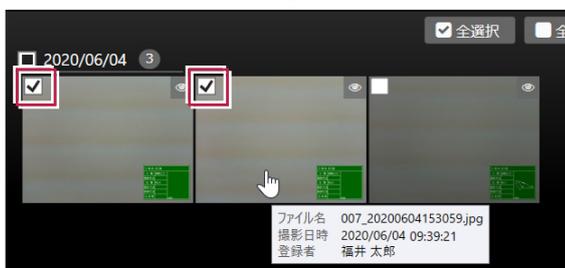


- 7 [ダウンロード条件] を選択します。

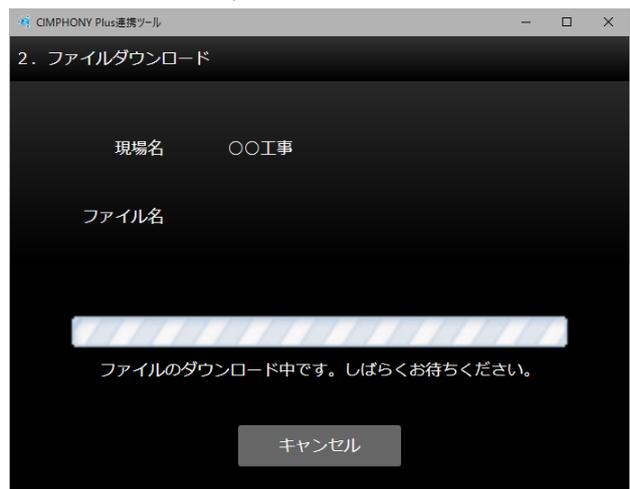
- 8 [ダウンロード] をクリックします。



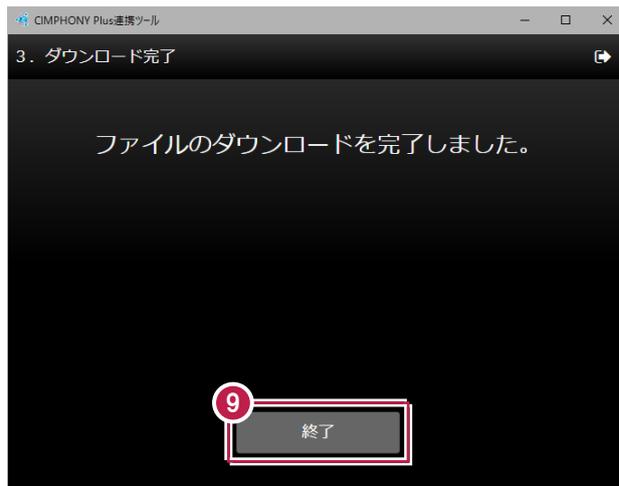
- [まだダウンロードしていない写真] を選択すると、CIMPAPHONY Plusから一度もダウンロードされたことのない写真のみ取り込みます。
(CIMPAPHONY Plusのユーザーが一度でもダウンロードした写真は「ダウンロード済み」として扱われます。)
- [ダウンロード済の写真から選択して取り込む] を選択すると、撮影期間を指定して過去にダウンロードした写真の中から選択して取り込むことができます。誤って削除した写真を再度取り込みたい場合や、他のユーザーがダウンロード済みの写真を取り込みたい場合などに使用してください。



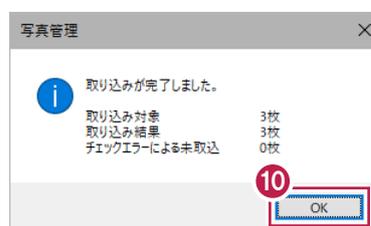
※写真の上にマウスを移動すると、ファイル情報が確認できます。



9 ダウンロード完了後、[終了] をクリックします。



10 取り込み完了のメッセージが表示されるので、[OK] をクリックします。



補足 工事情報の選択

写真管理とどこでも写真管理Plusの「工事名称」や「受注者名」が異なる場合はダイアログが表示されます。どちらを利用するか選択してください。



11 出来形写真が取り込まれます。

以上で出来形写真の取り込みは完了です。

